

# 『国際NGOと福島の話タイム ー福島をコラボレーションで支えるー』

JPFは、2011年東日本大震災直後より現地入りし、被災された方々・地元NPO・支援団体・自治体などと情報共有、連携しながら、東北で支援活動を展開してきました。東日本大震災からもうすぐ5年が経ちますが、いまだ19万541人が避難生活を続けており、そのうちの半数以上が福島県の方です。(4万4,094人が福島県外に、6万588人が福島県内に避難)<sup>\*</sup>  
当日は、JPFが日々活動をともしするJPF加盟NGOや福島支援団体が、福島の人々が抱えている複雑で見えにくい問題と、私たちが実践してきた地域の方々とのコラボレーションについてお話しします。

\*復興庁 平成27年10月30日発表



13:30~14:00 & 15:30~16:00

JPF国内事業部スタッフが、福島の被災者と支援団体の声を集めたビデオメッセージを上映します。ぜひ現地からの生の声をお見逃しなく。

## 第1部 14:00~14:50

### 談話タイム

震災当初から福島入りしたJPF加盟NGOと福島の現地パートナーが、これまでのコラボレーション活動をトーク形式で振り返り、具体的な過程や成果、さらに国際人道支援の経験やノウハウを活かした点、気づきを紹介します。

- AAR Japan [難民を助ける会]: 2011年3月より支援物資を配布。現在は障がい者への支援を継続中。
- シャンティ国際ボランティア会: 「ふくしまを走る移動図書館プロジェクト」を2012年10月から継続中。

## 第2部 14:50~15:30

### パネルディスカッション「コラボレーションでつくるこれからのカタチ」

福島の女性や子ども、高齢者、障害者などが抱える、なかなか顕在化せず見過ごされがちな課題について紹介します。どのようなコラボレーションが有効なのか、様々な立場の人々とともに包括的な支援を実施してきた福島の支援団体とJPFが話し合います。

- 【日 時】 2015年12月11(金) 14:00~15:30 (開場13:00)  
【場 所】 富士フィルムフォトサロン2F (フジフィルム スクエア内)  
東京都港区赤坂9丁目7番地3号  
【定 員】 先着100名程度 (参加無料)  
【お申し込み】 参加無料 2015年12月8日(火) メ切  
<http://www.japanplatform.org/event/20151211fukushima/apply.html> QRコード↑  
からお申し込みフォームにご記入、または、以下メールにてご連絡ください。  
fukushima@japanplatform.org (氏名、ご所属、電話番号、E-Mailを明記下さい。)  
【主 催】 特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム  
【お問合せ】 国内事業部 斎藤、谷内田、坂巻  
fukushima@japanplatform.org TEL:03-6261-4751 FAX:03-6261-4753  
【協 力】 富士フィルム(株)/フォトボランティア ジャパン基金



## 福島の被災者支援専用の寄付口座を新設しました

ジャパン・プラットフォームは、「東日本大震災被災者支援」において、2016年度からは主に福島に重点をおいてまいります。それに伴い、新たに福島被災者支援専用の寄付の受付を開始いたしました。  
※岩手・宮城を含む東北支援全般のご寄付(三菱東京UFJ銀行本店、口座:普通預金1354054)も引き続き受け付けております。

銀行名: 三菱東京UFJ銀行 支店名:本店  
口座: 普通預金 0153375  
口座名義: 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム  
カ ナ: トクヒ ジャパンプラットフォーム

## 国際協力NGO ジャパン・プラットフォーム

日本の緊急人道支援の新しいしくみとして2000年に誕生した中間支援団体。NGO・経済界・政府などが対等なパートナーシップのもとに連携し、迅速かつ効率的に国内外の緊急支援を実施するため、日本の加盟NGOを様々な形でサポートする。設立以来、総額350億円、1100以上の事業、40以上の国・地域における実績を持つだけでなく、企業とNGOの協業を促進し、支援活動報告をしっかりとすることで確かな信頼を築いてきた。各得意分野のある47の加盟NGOと情報を共有し、ともに支援プロジェクトをつくる。民間から総額70億円以上が寄せられた東日本大震災支援では、被災地の地域連携・中間支援組織、地元NGOをサポートし、復興への体制整備に貢献している。